

## 地域の復興のシンボル

### 小池熊野座神社落成式

小池熊野座神社で7月10日、落成式が行われました。約500年前に建てられたこの神社は、熊本地震により被災し、神殿などの修繕や拝殿、手水舎、鳥居の建て替え工事が行われ、令和3年3月に復旧しました。

落成式には西村町長をはじめ、近隣地区の区長や工事関係者など15人が出席。完成を祝いました。

小池秋永地区の渡邊章一わたなべしやういち区長は、「住民の暮らしが豊かになるよう、地域の神様として後世に伝えていきたい」と話しました。



建て替え工事が完了した鳥居と拝殿



ポスターを手に提案内容を説明する学生たち

## 若人たちの熊本地震「記憶の継承」

### 水の国くまもと 未来予想図プログラム最終報告会

役場仮設庁舎で7月12日、「水の国くまもと 未来予想図プログラム」の最終報告会が行われました。

同プログラムは、熊本日日新聞社とサントリーホールディングス(株)の共催で行われたもので、公募により集まった大学生が、本町、御船町、嘉島町の3班に分かれ、熊本地震「記憶の継承」のための提案を行うものです。

本町担当の班は、町の子どもたちが作成に携わるポスターを提案。提案を受けた西村町長は、「各家庭で語り継ぐことに、このポスターが役立つと思う」と述べました。

## 幸運と夢への橋渡し役

### 宝くじ「幸運の女神」表敬訪問

7月14日、宝くじ「幸運の女神」の新田真美にったまみさんが、西村町長を表敬訪問しました。

宝くじ収益金の一部は、毎年全国の自治体に配分されており、特に平成29年度には、熊本地震に関する交付金として4億9千万円が町に配分され、復旧・復興の貴重な財源となりました。

表敬訪問後の昼休みに、仮設庁舎で宝くじの販売が行われ、新田さんは「大きく当たりますように」と言いながら購入者一人一人に宝くじを手渡していました。



町長を表敬訪問した「幸運の女神」新田真美さん

Pickup Plus+  
今月のプラス



7月5日、日本航空のFacebookに町の紹介記事が投稿されました。これは、同社と結んでいる地域活性化等連携協定に関する取り組みの1つで、同社ふるさと応援隊の客室乗務員と、同社から町に派遣されている川合万太郎かわいまんたろうさんが町の特産品や魅力を紹介しています。